

### 国語



- ・平均正答率は、大阪府の平均値を上回っている。
- ・物語を読んで、心に残ったところとその理由をまとめて書く問題の正答率が大阪府の平均値を上回っている。
- ・目的や意図に応じて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題が見られる。

#### 今後の対策

語彙力をつけ、書く力を高めるために

- ・読み取りや解答に必要な言葉の意味を理解できるようにする。
- ・初見文に慣れるようにする。
- ・条件付きの文章を書く機会を増やす。

### わくわく問題



- ・平均正答率は、大阪府の平均値をやや下回っている。
- ・興味・関心のあることがらについて、意欲的に工夫して相手に伝える問題の正答率が高い。
- ・図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに論理的に考える問題に課題が見られる。

#### 今後の対策

- ・自分の考えをまとめ、工夫して相手に伝える力がついてきているので、今後も「理由や根拠を明確にして伝える」など論理的に考える場を設定し、さらに力を伸ばしていく。

### 算数



- ・平均正答率は、大阪府の平均値を上回っている。
- ・数と計算、変化と関係、データの活用の領域について、大阪府の平均値を上回っている。
- ・変化と関係などの領域の問題で、記述して説明するにあたって、必要な情報を抜けなく書くことに課題が見られる。

#### 今後の対策

問題場面や数量関係を適切にとらえる力をつけるために

- ・図などを用いて整理する活動を積極的に行い、図と問題文それぞれの数量の関係を比較してとらえることができるようにする。
- 記述して説明する力をつけるために
- ・解答するにあたって、何を説明する必要があるのかを考えて記述する問題に今後も取り組んでいく。

### 理科



- ・「エネルギー」「粒子」「生命」「地球」を柱とする領域の問題のすべてで大阪府の平均値を上回っている。
- ・とくに「粒子」の領域の問題が大阪府の平均値を大きく上回っている。
- ・選択式や短答式の問題と比べると、考えて書き表す記述式の問題に課題が見られる。

#### 今後の対策

- ・実験を行う際、方法を検討したり、問題から予想や仮説を発想したりする場を今後も設定していく。
- ・実際の現象にあてはめて考えたり、方法について考えたりしたことを書き表すことに課題が見られるので、自分の考えを言葉で表現する場を今後も設定していく。

### アンケートから



- ・国語の授業で、目的に応じて、簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように工夫して文章を書いている児童が多い。
- ・算数の授業で学習したことは、将来、社会にでたときに役に立つと思っている児童が多い。
- ・英語の勉強が好きで、大切だと思っている児童が多い。
- ・学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考えに気付いたりできている児童が多い。
- ・自分にはよいところがあり、先生はよいところを認めてくれていると思っている児童が多い。
- ・将来の夢や目標を持っている児童が多い。



- ・携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人との約束を守っている児童が大阪府や全国と比較すると少ない。



本校は小規模校であり、こういった調査では母数が少ないため、全体の傾向を分析しにくい側面もあります。全体の回答率という大くくりの結果だけでなく、個々の設問についての結果や、児童個別の結果を参考にして、授業改善に努めております。